

パープルライトアップ -女性に対する暴力をなくす運動-

企画課地域振興班 ☎22-9105

11月25日の「女性に対する暴力撤廃国際日」を前に、平戸市でも「パープルライトアップ」が行われます。紫に染まる平戸城や幸橋が、あらゆる暴力根絶への願いを静かに伝えます。

日常生活や地域社会における女性の視点の大切さに思いを馳せ、この光に心を寄せてみませんか。



1_平戸城(平戸市) / 2_旧時報鐘楼(群馬県) / 3_大阪城天守閣(大阪府) / 4_札幌市時計台(北海道) / 5_道の駅小豆島オリブ公園ギリシャ風車(香川県) / 6_迎賓館赤坂離宮(東京都) / 7_幸橋(平戸市)
※市外の写真は内閣府提供

Interview



平戸市男女共同参画推進委員会会長
すえよし りょう 末吉 亮 さん
(生月町)

私は、3年前から平戸市の男女共同参画推進委員になりました。

当初は、男女共同参画社会の推進とは具体的に何をやるのだろうと思っていました。私の職場は女性が多い環境で、すでに女性が活躍しており、推進することの実感がなかったというのが本音です。

全国的に男女共同参画社会が推進されていますが、身近なところでは、浸透していませんと感じることもあります。

例えば、「人前であいさつをするのは男性がやるべきだ」という意見が女性から出たこともありました。性別による役割分担の意識は無意識である場合が多いものの、男女問わず根強く存在していると思います。

私は、地域社会において女

性の視点が必要とされる分野は多いと思います。あらゆる分野で本人の意欲に応じて活躍できる機会をつくることは、男女双方が自分らしく生きていくために不可欠です。

共働き世帯の増加や核家族化が進む中で、男性の家事や育児への積極的な参画は非常に重要です。夫婦が共働きなのに「食事の準備」や「洗濯」などの家事は女性の役割になっていませんか。

私自身も、委員の活動を通じて、避難所の運営で女性の視点が不足していることを痛感しました。委員活動で経験したことをたくさんの人に共有していきたいと思っています。皆さんもまずは、「男女共同」という視点を日常的に意識することから始めていただきたいと思っています。

Interview



平戸市男女共同参画推進委員会委員・長崎県男女共同参画推進アドバイザー
さとぎ ゆき 里崎 雪 さん
(早福町)

私は、平戸市の男女共同参画推進委員を6年、県のアドバイザーを2年間務めています。

「男女共同参画社会」という言葉は認知されつつありますが、女性の立場から「男女共同参画社会の実現」について考えると、まだ多くの課題が残っていると感じます。

特に、家庭においては「家事・育児・介護」の多くを女性が担っているという声が多く聞かれます。

これは、女性が社会で活躍し、働き続けるための大きな負担となっており、男女共同参画社会の実現には、こうした負担を少しでも軽減するための仕組みづくりや価値観の共有を図ることから始めなければと考えています。

11月25日は、国連の定め

る「女性に対する暴力撤廃国際日」で、それに先立つ2週間11月12日～25日は、女性に対する暴力根絶のシンボルとしてパープルリボン運動が展開されています。パープルライトアップもこの一環として全国のランドマークなどで行われており、平戸市でも平戸城と幸橋で実施します。

「なぜ平戸城が紫？」という声が無だに聞かれますが、この運動は、さまざまな形態の暴力を無くすために、社会全体が声を上げて取り組むべき問題を可視化することが目標です。

パープルライトアップと情報発信を継続して行うことで、多くの人々にこのメッセージが届き、暴力根絶に向けた意識を高めることができると思っています。

11月12日～25日は「女性に対する暴力をなくす運動」期間

「女性に対する暴力をなくす運動」期間に、女性に対する暴力根絶のシンボルであるパープルリボンにちなんで、パープルライトアップを行います。

ライトアップされた施設を見て、男女共同について考えてみませんか？

○ライトアップ期間 11月12日(火)～25日(月)午後7時30分～午後8時30分

○対象施設 平戸城・幸橋



パープルリボン